

# ENVI5.5 SP 3 リリースノート

## Note

最新の情報に関しては、下記のリンクを参照してください。

<http://www.harrisgeospatial.com/SoftwareTechnology/ENVI.aspx>

このリリースノートは次の項目に分かれています。

- ENVI5.5 SP 3 のサポートプラットフォーム
- ENVI5.5 SP 3 の新機能
- ENVI5.5 SP 3 で修正された問題

## ENVI5.5 SP 3 のサポートプラットフォーム

ENVI5.5 SP 3 のサポートプラットフォームを以下の表に示します。

ENVI5.5 SP 2 と SP 3 では、サポートバージョンに変更があります。

これからソフトウェアをインストールするマシンが以下の条件を満たすかどうか、必ずご確認ください。また、ライセンス認証にはネットワークカード (NIC もしくは Ethernet) が必要になります。

プラットフォーム	ハードウェア	オペレーティングシステム	サポートバージョン <sup>b</sup>
Windows	Intel / AMD 64-bit <sup>a</sup>	Windows	10
Macintosh	Intel 64-bit	OS X	10.14, 10.15 <sup>c</sup>
UNIX	Intel / AMD 64-bit	Linux	Kernel 3.10.0 以上 glibc 2.17 以上

<sup>a</sup>: ENVI5.3 より Windows は 64-bit OS のみのサポートとなります。32bit モードの ENVI を起動する場合は、「ENVI5.5/IDL8.7 インストールガイド」の「Windows 版 ENVI / IDL の起動方法」をご確認ください。

b: サポートバージョン中の記載は、ENVI / IDL の構築・テスト環境を示しています。弊社による公式のサポートは、表に記載されたインストール環境に対して適用されません。

c: ENVI / IDL の動作には JAVA6 SE ランタイムのインストールが必要になります。MacOS 10.15 (Catalina) にインストールする、または前バージョンに IDL8.7.3 をインストールしていて MacOS 10.15 にアップグレードする場合、インストールやアップグレード前に「MacOS10.15\_Catalina で製品を使用する際の注意事項」のドキュメントおよび以下のヘルプ記事を必ずご参照ください。

<https://www.harrisgeospatial.com/Support/Self-Help-Tools/Help-Articles/Help-Articles-Detail/ArtMID/10220/ArticleID/23842/default>

c: Macintosh 版のインストールには、Apple X11 X-window マネージャが必要となります。X11 がインストールされていない場合は、XQuartz よりインストールを行ってください。XQuartz2.7.11 にて動作確認されています。

#### 推奨環境：

本製品を快適に利用するために 1GB 以上のメモリを持つグラフィックボードの搭載と、バージョン 2.0 以降の OpenGL のマシン環境を推奨します。また、搭載されているグラフィックボードのドライバを最新にアップデートすることを推奨します。ヘルプシステムは HTML5 対応ブラウザを必要とします。

## ライセンスサーバーのサポートプラットフォーム

本製品をフローティングのライセンスのサーバー機として使用する場合には、ライセンスサーバー (Flexnet License Server) を使用します。そのライセンスサーバーのサポートプラットフォームを以下の表に示します。なお、MacOS はフローティングサーバーとしては動作いたしません。

ライセンスサーバーをインストールするマシンが以下の条件を満たすかどうか、必ずご確認ください。また、フローティングライセンスに関しても、ライセンス認証にはネットワークカード (NIC もしくは Ethernet) を介した、インターネット接続が必要となります。

プラットフォーム	CPU アーキテクチャ	サポートバージョン
Windows 64bit	x86-64	Windows Server 2008, 2012 Windows 8, 10
Linux	x86-64	Cent OS 6.x Cent OS 7.x Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 6.x Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 7.x Ubuntu 16

また、現行の Flexnet License Server 2017.08 の動作に要求される最小のマシンスペックを以下の表に示します。インストールを行うマシンが以下の性能を満たしているか、必ずご確認ください。

ハードウェア	最小スペック
DISK	500MB
RAM	4 GB
CPU	2GHz – 2 Cores

#### その他：

搭載されているグラフィックボードのドライバを最新にアップデートすることを推奨します。各製品の Help は HTML5 対応ブラウザを必要とします。

## ENVI5.5 SP 3 の新機能

詳細は以下のページを参照ください。

[https://www.harrisgeospatial.com/docs/using\\_envi\\_WhatsNew.html](https://www.harrisgeospatial.com/docs/using_envi_WhatsNew.html)

## ENVI5.5 SP 3 で修正された問題

ID	解 説
ENVI-70414	CN スペクトルシャープニングで生成される出力画像に誤りがあった。
ENVI-71019	IMD 形式のメタデータに含まれる WorldView-3 のデフォルトのラジオメトリックキャリブレーション係数が正しくなかった。
ENVI-71800	ラスタカラスライスに対する統計計算でエラーが発生した。
ENVI-71809	(Build Layer Stack) ツールの Intersection と Union の設定がそれぞれ反対の動作をした。
ENVI-71907	最近入手された WorldView-3 / -4 画像を開くとエラーメッセージが出力された。
ENVI-71917	TIL 形式の WorldView-2 データを開くことができなかった。